

算数 小学校用 指導カリキュラム

指導語い・表現一覧表



算数【小1】 指導カリキュラム（指導語い・表現）一覧表

教科 算数 小1 単元別 指導語い・表現		
月	単元	指導語い・表現 ○S2初級 ○ ○S3中級
4月	1 かずと すうじ ① 5までの かず ② 5は いくつと いくつ ③ 10までの かず ④ かずの ならびかた ⑤ かずの おおきさ くらべ	・いち, に, さん, し, ご, ろく, しち, はち, く, じゅう ・1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 ・4この ぼおる 5この おはじき ・おおいのは どれ ・ななべよう ・くらべよう ・かぞえよう
5月	2 なんばんめ	・○は うえから(みぎから, まえから) なんばんめですか。 ・まえから 4にん(3だい)
5月	3 いくつと いくつ ① (5~10)は いくつと いくつ ② 0と いう かず	・おおい ほうが ち ・○かいめ ・1 と 5 ・7に なあれ ・いくつと いくつ ・2まい めくって 9に しましょう。
6月	4 いろいろな かたち	・これと おなじ かたちの ものは どれですか。 ・はこの かたちを さがしましょう。 ・かたちを うつして えを かきましょう。 ・いろを ぬりましょう。
6月	5 ふえたり へったり	・3にん おります。 ・4にん のります。
6月	6 たしざん(1) ① あわせて いくつ ② ふえると いくつ ③ たしざんを つかう もんだい	・あわせて なんこですか。 ・みんなで なんぼんですか。 ・ぜんぶで なんさつですか。 ・2だい ふえると, なんだいに なりますか。 ・$2+3=5$の しきに なる おはなしを しましょう。
7月	7 ひきざん(1)	・3こ たべると, なんこ のこりますか。

	① のこりは いくつ ② ちがいは いくつ ③ ひきざんを つかう もんだい	・はずれは 6ぽんです。あたりは なんぽんですか。 ・りんごの ほうが なんこ おおいですか。 ・かずの ちがいは いくつですか。 ・しきに かきましょう。
9月	8 20までのかず ① 10より おおきい かず ② かずの ならびかた ③ 10と いくつ	・じゅう と さん で じゅうさん ・□に かずを いれましょう。
9月	9 おおきさくらべ (1) ① ながさくらべ	・どちらが ながいですか。 ・たてと よこを くらべて みましょう。
	② かさくらべ	・どちらが おおく はいりますか。 ・はいる みずの かさを くらべましょう。 ・みずが おおく はいる じゆんに いいましょう。
	③ とけい	・とけいをよみましょう。 ・○じをつくりましょう。 ・なんじ なんじはん
10月	10 3つの かずの けいさん	・4ひき のっています。3びき のりました。また 2ひき のりました。 ・8ひき のっています。4ひき おりました。また 2ひき おりました。
10月	11 たしざん(2) ① くりあがりのある たしざん ② たしざんを つかう もんだい	・7に 3を たして 10 10と 2で 12
11月	12 かたちづくり ① かたちづくり ② かたちを うつして	・いろいろ ならべを しましょう。 ・ぼうを ならべて(てんを つないで), かたちを つくりましょう。 ・かたちを かえましょう。
11月	13 ひきざん(2) ① くりさがりの ある ひきざん ② ひきざんを つかう もんだい	・10から 7を ひいて 3 3と 2で 5
12月	たすのかな ひくのかな	
12月	14 0の たしざんと ひきざん	・4+0 8-8

12月	15 ものと ひとの かず	・ のりものの けんが 16まい あります。 ・ 8にんの こどもに 1まいずつ わたすと、なんまいのこりますか。
1月	16 大きい かず	・ 100までのかず ・ 十のくらい ・ 一のくらい
2月	17 100までの かずのけいさん ① 20よりおおきいかずのたしざんひきざん ② 100までの かずのけいさん	
2月	18 おなじ かず ずつ	・ 3人の 子どもに あめを 5こずつ あげます。 ・ みんなで なんこ いりますか。
2月	19 おおいほう すくないほう	・ まいさんは、ひかりさんより 3こ おおいそうです。 ・ まいさんは ひかりさんより 2こ すくなかったそうです。
3月	ものの いち	・ とけいは どこに ありますか。
3月	20 大きさをくらべ(2) ① かずしらべ おおいは どれ ② どちらが ひろい ③ とけい	・ どちらが ひろいですか。 ・ どちらが 大きいですか。 ・ なんじ なんぷん

算数【小2】 指導カリキュラム（指導語い・表現）一覧表

教科 算数 小2 単元別 指導語い・表現		
月	単元	指導語い・表現 ○S2初級 ○S3中級
4月	1 ひょう・グラフと時計 ① ひょう・グラフ ② 1日の生活（午前と午後）	・ひょう(グラフ)にかきましょう。 ・時こくと時間 ・1時間=60分 ・1日=24時間 ・長い はりが 1目もり うごく 時間が 1分です。 ・午前 正午 午後
4月	2 たし算と ひき算 ① なん十のたし算 ② なん十のひき算	・38に2をたして40 40と1で41 ・40から9をひいて31 31と2で33
5月	3 長さ ① センチメートル ② ミリメートル ③ 長さの計算 ④ ものさしの つかいかた	・センチメートル ・ミリメートル ・長さの たんい ・まっすぐな線を直線 ・直線で むすびましょう(つなぎましょう)。 ・長さを よそうしてから はかってみましょう。
5月	4 たし算と ひき算の ひっ算（1） ① 2けたのたし算 ② くり上がりの ある たし算 ③ 2けたのひき算 ④ くり下がりの ある ひき算	○ひっ算 ・34+12を たてに かいて 計算してみましょう。 ・たし算では たされる数と たす数を 入れかえても、答えは 同じです。 ・くり上がり ・答えを ひっ算で たしかめましょう。 ・くり下がり ・ひき算では ひく数と 答えを たすと、ひかれる数になります。
6月	かくれた 数は いくつ ① へったのはいくつ ② ふえたのはいくつ ③ はじめは いくつ	・図にかいてみましょう。 ・図を見て考えましょう。
6月	5 1000までの 数	・10のまとまり 100のまとまり

	① 1000をこえる数 ② 10がいくつ ③ 数のならびかたと大小 ④ たし算とひき算	・千 ・100を 3こ あつめた 数を 三百と いいます。 ・三百と 六十五で 三百六十五と いいます。 ・625は、100を 何こ、10を 何こ、1を 何こ あわせた 数ですか。 ・三百七と五百十を数字でかきましょう。 ・百のくらい、十のくらい、一のくらい ・1000より 1 小さい数 ・1000は 999の つぎの 数です。 ・数の直線 ・834は 283より 大きい $834 > 283$ ・375は 380より 小さい $375 < 380$
7月	6 かさ ① リットル ② デシリットル ③ ミリリットル	・バケツに はいる 水の かさは、どちらが どれだけ 多いですか。 ・水などの かさは まずで はかり、その いくつ分で あらわします。 ・L(リットル) ・1L = 10dL ・dL(デシリットル) ・1dL = 100mL ・mL(ミリリットル) ・1L = 1000mL
9月	7 たし算とひき算のひっ算(2) ① 百のくらいに くり上がる たし算 ② 3つの 数の たし算の ひっ算 ③ 百のくらいから くり下がる ひき算 ④ 3けた たす 2けたの 数の ひっ算	・答えが 100を こえる ひっ算の しかたを 考えて いきましょう。 ・3つの数の ひっ算の しかたを 考えましょう。 ・くいを そろえて たてに 3だんに かきます。 ・百のくらいから くり下げる ことを 考えましょう。
9月	ふえたりへったり	・ふえたりへったり ・はいって きた 車を まとめて 考えましょう。 ・何びき ふえた ことに なるかを 考えましょう。
10月	8 計算のじゅんじょ ① 3つの 数の 計算の じゅんじょ ② 数の 大小(等号・不等号)	・じゅんに たす ・まとめて たす ・じゅんに たしても、まとめて たしても、答えは 同じです。 ・まとめて 計算する ときは ()を つかう。 ・()の 中は さきに 計算する。 ・$>$, $<$, $=$ を つかって しきに かきましょう。

10月	9 かけ算(1) ① いくつぶん ② なんばい ③ 五のだんの 九九 ④ 二のだんの 九九 ⑤ 三のだんの 九九 ⑥ 四のだんの 九九 ⑦ かけられる数とかける数	・4の 3つ分 の ことを しきで 4×3 と かき,「4かける3」と よみます。 ・4×3の 答えは, $4+4+4$で もとめられます。 ○ $\begin{array}{ccc} 4 & \times & 3 \\ \hline 12 \end{array}$ 1つ分の数 いくつ分 ぜんぶの数 ・4×3の ような 計算を かけ算と いいます。 ・6cmの 2つ分の ことを, 6cmの 2ばいとも いいます。(6×2) ○ かけられる数 かける数 $\begin{array}{ccc} 5 & \times & 2 \\ \hline 10 \end{array}$ ・$5 \times 1, 5 \times 2, 5 \times 3, \dots$の 答えを「五一が5」,「五二10」,「五三15」, ……と いって おぼえます。このような いい方を 九九と いいます。 ・いくつずつ ふえて いくかを 考えましょう。
11月	10 かけ算(2) ① 六のだんの 九九 ② 七のだんの 九九 ③ 八のだんの 九九 ④ 九のだんの 九九 ⑤ 一のだんの 九九 ⑥ かけ算をつかったもんだい	
12月	11 三角形と 四角形 ① 三角形と 四角形 ② 直角・辺[へん]・頂点[ちやうてん] ③ 長方形 ④ 正方形 ⑤ 直角三角形	・点と 点を 直線で つないで ○○を かこみましょう。 ・できた 形を 2つの なかまに 分けましょう。 ・3本の 直線で かこまれている 形を 三角形と いいます。 ・4本の 直線で かこまれている 形を 四角形と いいます。 ・三角形や 四角形で まわりの ひとつひとつの 直線を 辺[へん], かどの 点を ちょう点と いいます。 ・紙を おって, できた かどの 形を 直角と いいます。 ・かどが みんな 直角に なって いる 四角形を 長方形と いいます。 ・かどが みんな 直角で, 辺[へん]の 長さが みんな 同じ 四角形を 正 方形と いいます。 ・1つの かどが 直角に なって いる 三角形を 直角三角形と いいます。 ・方がん紙に かきましょう。
1月	12 九九の きまり ① 九九の ひょう ② 九九を広げて	・九九の ひょうを つかって, 九九の きまりに ついて しらべて いきま しょう。 ・かけ算では, かける数が 1 ふえると, 答えは かけられる 数だけ ふえま

		す。 ・かけ算では、かけられる数と かける数を 入れかえても 答えは 同じです。 ・2のだんと 3のだんを たてに たすと、答えは 5のだんと 同じになります。 ・12×4の答えは次のようにもとめることもできます。 ・12を8と4に分けると…… ・$8 \times 4 = 32$ $4 \times 4 = 16$ $32 + 16 = 48$
2月	13 100cmを こえる 長さ	・m(メートル) ・1mは 100cmです。 ・120cmは 1m20cmです。 ・いろいろな ものや 場しの 長さを よそうして みましょう。
2月	ちがいを みて	・図を 見て 考えましょう。 ・図を かいて 考えましょう。
2月	どんな計算になるのかな	・6×4の しきに なる わけは、6この 4つぶんを もとめるからです。
2月	14 10000までの 数 ① 1000を こえる 数 ② 100が いくつ ③ 一万	・100の まとまりは 何こ できますか。 ・1000を 2こ あつめた 数を 二千と いいます。 ・二千と 九百二十三で 二千九百二十三と いいます。 ・三千七十四を 数字で かきましよう。 ・一万(10000)000を 10こ あつめた 数, 10000は 9999の つぎの 数です。
3月	15 はこの 形	・形 面[めん] 辺[へん] ちょう点 ・はこの 面[めん]は、長方形や 正方形の 形を していて、ぜんぶで 6つ あります。 ・はこの 形には、辺[へん]が12, ちょう点が 8つ あります。 ・工作用紙を つかって、はこの 形を つくりましよう。 ・ひごと ねん土玉を つかって、はこの 形を つくりましよう。
3月	16 分数	・二分の一 四分の一 分数 ・半分に 分けます。 ・もとの 大きさを 同じように 2つに 分けた 1つ分を、もとの 大きさの 二分の一と いいます。

算数【小3】 指導カリキュラム（指導語い・表現）一覧表

教科 算数 小3 単元別 指導語い・表現		
月	単元	指導語い・表現 ○S2初級 ○S3中級
4月	1 九九の表とかけ算 ① かけ算のきまり ② 10と0のかけ算 ③ かけ算を使って □にあてはまる数	・ かけ算では、かける数が1ふえると、答えはかけられる数だけ大きくなり、かける数が1へると、答えはかけられる数だけ小さくなります。 ・ どんな数に0をかけても答えは0です。また、0にどんな数をかけても答えは0です。
5月	2 わり算 ① 同じに分ける ② 同じずつ分ける ③ 何倍のもとのめ方 ④ わり算を使う問題 ⑤ 答えが九九にないわり算	・ 見当をつけて、同じ数ずつ分けましょう。 ・ 15こを3人に同じ数ずつ分けるときの1人分をもとめる計算の式を$15 \div 3$とかき、「15わる3」とよみます。 ・ $15 \div 3$のような計算をわり算といいます。 ・ 12こを、1人に3こずつ分けるときの人数をもとめる計算も、わり算の式にかきます。 『 式 $12 \div 3 = 4$ 答え 4人 』 ・ □にあてはまる数をもとめる計算は、どちらもわり算の式になります。 『 6(わられる数) $\div$ 3(わる数) 』 ・ 何倍にあたる数をもとめるときも、わり算の式に表します。 『 $3 \times \square = 21 \rightarrow 21 \div 3$ 』
5月	3 円と球 ① 円 ② 球	・ コンパスでかいたようなまるい形を、円といいます。 ・ 円のまん中の点を円の中心、中心から円のまわりまでひいた直線を円の半径[はんけい]といいます。 ・ 円の中心を通過して、まわりからまわりまでひいた直線を円の直径[ちょっけい]といいます。直径[ちょっけい]は半径[はんけい]の2倍です。直径[ちょっけい]は、円の中にひいた直線のうちで、いちばん長い直線です。 ・ ボールのようにどこから見ても円に見える形を、球といいます。 ・ 球をどこで切っても、切り口は円になります。
6月	4 たし算の筆算とひき算の筆算 ① たし算の筆算 ② ひき算の筆算 ③ 4けたの数の筆算	・ 百の位 ・ 千の位
7月	5 一億までの数 ① 10000より大きい数	・ 万の位[くらい] ・ 千万を10倍した数を、一億といいます。

	② 一億という数	・3500000は，一万を350こ集めた数で，350万ともかきます。 ・数の直線を数直線といいます。数は，数直線の点で表すことができます。数直線では，右にいくほど数が大きくなっています。
7月	6 たし算とひき算 ① たし算とひき算の暗算	・暗算
9月	7 時間と長さ ① 時こくと時間	・時こく ・時間 ・1分より短い時間のたんいに秒があります。 ・1分=60秒 ・ストップウォッチ
	② 長さ調べ	・道にそってはかった長さを道のりといいます。 ・道のりなどを表すときの長さのたんいにkmがあります。 ・km(キロメートル) 1km=1000m ・長いものをはかるには，まきじゃくを使うとべんりです。まきじゃくは，もののまわりをはかるときにも使います。
9月	8 あまりのあるわり算	・$13 \div 3 = 4$ あまり 1 ・$12 \div 3$のように，あまりがないときわり切れるといい，$13 \div 3$のように，あまりがあるときわり切れないといいます。 ・わり算のあまりは，いつもわる数より小さくなるようにします。(あまり<わる数)
10月	何倍でしょう	
10月	9 計算のじゅんじょ	・3つの数のかけ算
10月	間の数	
10月	10 三角形と角 ① 二等辺三角形[にとうへんさんかくけい]と正三角形 ② 角	・二等辺三角形[にとうへんさんかくけい]—2つの辺[へん]の長さが同じ三角形 ・正三角形—3つの辺[へん]の長さがみんな同じ三角形 ・辺[へん]の長さがみんなちがう三角形—三角形 ・角つのちょう点から出ている2つの辺[へん]がつくる形
11月	11 1けたをかけるかけ算の筆算 ① 2けた×1けたのかけ算 ② 3けた×1けたのかけ算 ③ かけ算の暗算	・答えの見当をつけてみましょう。

11月	12 重さ トン ① グラム ② キログラム ③ 重さの計算 ④ 重さのたし算とひき算 ⑤ トンという重さのたんい	・重さのたんいにgがあります。 g(グラム) ・重さのたんいにkgがあります。 kg(キログラム) 1kg=1000g ・とても重いものをはかるときのたんいにtがあります。 t(トン) 1t=1000kg
12月	13 分数 ① はしたの大きさと分数 ② 分数の大きさ ③ 分数の大小 ④ 分数のたし算とひき算	・はしたの大きさの表し方 ・L(リットル) ・等号—等しいことを表すしるし ・不等号[ふとうごう]—大きい小さいを表すしるし >, <
12月	べつべつに, いっしょに	
12月	14 計算のきまり	
1月	15 表とグラフ ① 表 ② ぼうグラフ	・人数を調べるには, 正の字をかくとべんりです。 ・少ないものは, まとめて「その他」とし, さいごにかきます。 『ぼうグラフのかき方』 ① 表題をかく。 ② たてに, 人数の目もりをかく。 ③ 目もりのたんいをかく。 ④ 横に調べたものをかく。 ⑤ 数にあわせてぼうをかく。
2月	16 小数 ① はしたの大きさと小数 ② 小数の大きさ ③ 小数のたし算とひき算	・0.1L (れい点一リットル) ・0.1, 0.5, 2.4のような数を小数といい, 「.」を小数点といいます。 ・0, 1, 2のような数を整数といいます。 『筆算の計算のしかた』 ① 位[くらい]をそろえてかく。 ② 整数のたし算やひき算と同じように計算する。 ③ 上の小数点にそろえて答えの小数点をうつ。
2月	17 2けたをかけるかけ算の筆算 ① 何十をかけるかけ算 ② 2けた×2けたのかけ算 ③ 3けたの数のかけ算	
3月	18 □をつかった式	

算数【小4】 指導カリキュラム（指導語い・表現）一覧表

教科 算数 小4 単元別 指導語い・表現		
月	単元	指導語い・表現 OS3中級 OS4上級
4月	1 角とその大きさ ① 角のはかり方とかき方 ② 三角形の角 ③ 三角じょうぎの角	・角は、直線が辺アイの位置から辺アウの位置までまわってできる形とみることができます。このとき、直線がどれだけまわったかで、角の大きさがきまります。 ・角の大きさををはかるには、分度器を使います。 ・度(°)は、角の大きさの単位です。角の大きさのことを角度ともいいます。 『直角・・・90°』 ・おうぎを開いていったとき、半回転や一回転してできる角の大きさを調べましょう。 ・正三角形では、3つの角はどれも60°になっています。 『角のかき方』 ① 直線アイをかく。 ② 分度器の中心を点アにあわせる。 ③ 0°の線を辺アイにあわせる。 ④ 0°の目もりのところに点ウをうつ。 ⑤ 点アと点ウを通る直線をかく。
4月	2 1けたでわるわり算の筆算 ① 答えが何十・何百になる計算 ② 2けた÷1けたの筆算 ③ 3けた÷1けたの筆算 ④ 暗算	・1こ分のねだんを求めるから、わり算になります。 ・10のいくつつ分という意味にもどって考える。 ・わり算の答えを商といいます。 ・たてて→かけて→ひいて→おろすの順に計算すればいい。 ・答えのたしかめをしましょう。【(わる数)×(商)+(あまり)=(わられる数)】
4月	何倍でしょう	
5月	3 1億をこえる数 ① 億と兆 ② 大きな数のかけ算	・千億の10倍を一兆といいます。一兆は一億の10000倍です。 ・右から順に4けたごとに区切るとよみやすくなります。 ・どんな大きさの数でも0,1,2,3,4,5,6,7,8,9の10この数字でかき表すことができます。 ・どんな数でも、各位の数字は10倍すると位が1つ上がり、10でわると位が1つ下がります。 ・かけ算の答えを積といいます。
6月	4 式と計算のじゅんじょ ① 式と計算のじゅんじょ ② 計算のきまり ③ 計算の間の関係	・ことばの式をもとにして、()を使って1つの式にかくことを考えましょう。 ・たし算やひき算と、かけ算やわり算とがまじった式では、かけ算やわり算をさきに計算するきまりになっています。 『計算の順じょ』

	④ 式のよみ方	・ふつう、左から順にします。 ・()があるときは、()の中をさきにします。 ・+、-と、×、÷とでは、×、÷をさきにします。 『()を使った式のきまり』 ・$(\blacksquare + \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle + \bullet \times \blacktriangle$ ・$(\blacksquare - \bullet) \times \blacktriangle = \blacksquare \times \blacktriangle - \bullet \times \blacktriangle$ 『計算のくふう』 ・$92 + 8 = 100$であることから考えましょう。 ・$25 \times 4 = 100$であることから考えましょう。 ・$99 = 100$であることから考えましょう。 ・次の問題を□を使った式に表して、□にあてはまる数を求めましょう。 ・□の数は、どんな計算で求められますか。
6月	5 折れ線グラフ ① 変わり方を表すグラフ ② 折れ線グラフのかき方	・折れ線グラフでは、線のかたむきぐあいで、変わり方のようすがわかります。 ・折れ線グラフでは、変わり方の大きいところほど、線のかたむきが急です。 『折れ線グラフのかき方』 ① 表題をかく。 ② 横に時こくをとり、目もりをつける。 ③ たてに気温をとり、目もりをつける。 ④ それぞれの時こくの気温を表す点をうつ。 ⑤ 点を順に直線でつなぐ。 ・ <u>~~~~</u> は、一部分を省いてある印です。
7月	6 小数 ① 小数の表し方 ② 小数のしくみ ③ 小数のたし算・ひき算	・かさを、Lを単位にして表しましょう。 ・はしたは、0.1Lを何等分して考えればよいですか。 ・0.001(れい点れいれい一) ・1.289(一点二八九) ・0.1, 0.01, 0.001は1の何分の1ですか。 数直線を見て考えましょう。 ・1は、0.1, 0.01, 0.001の何倍ですか。 ・小数も整数と同じように、各位の数字は、10倍すると位が1つ上がり、10でわると位が1つ下がります。
9月	7 面積 ① 面積 ② 面積の求め方のくふう ③ 大きな面積	・方がんの1目は1cmです。 ・広さのことを面積といいます。面積は、1辺が1cmの正方形がいくつ分あるかで表します。 ・1cm^2(1平方センチメートル)=1辺が1cmの正方形の面積 ・1m^2(1平方メートル)=1辺が1mの正方形の面積 ・1km^2(1平方キロメートル)=1辺が1kmの正方形の面積 ・長さの単位がcmのときは、単位はcm^2になります。

		・長さの単位がmのときは、単位はm^2になります。 ・1a (1アール)=$100m^2$ ・1ha(1ヘクタール)=$10000m^2$ 『公式』 ・長方形の面積=たて×横 ・正方形の面積=1辺×1辺 ・面積を求めるときは、長さの単位をそろえます。
10月	8 2けたでわるわり算の筆算 ① 何十でわるわり算 ② 商が1けたになる筆算 ③ 商が2けた, 3けたになる筆算 ④ わり算のせいしつ	・$(80 \div 30)$0円玉の8こと3こをくらべて、商を2と見当をつけます。 ・30を2倍してみると60で、20あまります。 ・96を90, 32を30とみて、$90 \div 30$から商の見当をつけましょう。 ・商はどの位からたちますか。 ・見当をつけた商が大きすぎたときは、1ずつ小さくすればいい。 ・$6500 \div 250 \rightarrow (10でわる) \rightarrow 650 \div 25 \rightarrow (5でわる) \rightarrow 130 \div 5$
10月	10 がい数とその計算 ① がい数の表し方 ② がい数の計算	・およその数のことをがい数といいます。 ・およそ35000人のことを、約35000人ともいいます。 ・1000にたりないはしたの数に目をつけて考えましょう。(6112人) ・1つの数を、ある位までのがい数で表すには、そのすぐ下の位の数字が、0, 1, 2, 3, 4のときは切り捨てます[きりすてます]。5, 6, 7, 8, 9のときは切り上げます。このしかたを四捨五入[ししやごにゅう]といいます。 『がい数の表し方』 ・ある位までのがい数 ・上から1けたや2けたのがい数 『はんいを表すことば』 ・以上…1300以上とは、1300に等しいかそれより大きい数 ・未満…1300未満とは、1300より小さい数(1300は入らない) ・以下…1300以下とは、1300に等しいかそれより小さい数 ・たし算の答えを和、ひき算の答えを差といいます。 ・ふくざつなかけ算の積を見積もるには、ふつう、かけられる数もかける数も上から1けたのがい数にしてから計算します。 ・ふくざつなわり算の商を見積もるには、ふつう、わられる数を上から2けた、わる数を上から1けたのがい数にして計算し、商は上から1けただけ求めます。
11月	11 整数の計算のまとめ	・たし算やひき算では、数を10や100のいくつ分と考えたり、位ごとに分けたりして計算します。たし算やひき算の筆算は、これらの考え方を組み合わせたものといえます。筆算は、たてに位をそろえてかき、下の位から順に計算します。 ・かけ算やわり算では、数を10などがいくつ分と考えたり、位ごとに分けたりして計算します。かけ算やわり算の筆算は、これらの考え方を組み合わせたものといえます。筆算では、かけ算は下の位から、わり算は上の位から順に計算します。

11月	12 垂直・平行と四角形 ① 垂直[すいちょく]と平行 ② 垂直[すいちょく]や平行な直線のかき方 ③ 四角形	・2つの直線が交わってできる角が直角のとき、この2つの直線は垂直[すいちょく]であるといひます。 ・1つの直線に垂直[すいちょく]な2つの直線は平行であるといひます。 ・平行な2つの直線のはばは、どこをはかっても同じです。 ・垂直[すいちょく]や平行になっている辺の組をみつけましよう。 ・向かいあった1組の辺が平行な四角形を台形といひます。 ・向かいあった2組の辺がどちらも平行になっている四角形を平行四辺形といひます。 ・辺の長さがみんな等しい四角形をひし形といひます。 ・ひし形の向かいあった辺は平行です。向かいあった角の大きさは等しくなっています。 ・四角形の向かいあった頂点[ちやうてん]を結んだ直線を対角線といひます。 ・ひし形の2つの対角線は垂直[すいちょく]で、それぞれのまん中の点で交わります。
12月	13 小数×整数,小数÷整数 ① 小数のかけ算 ② 小数のわり算	・$(1本の量) \times (本数) = (全体の量)$ ・0.1, 0.01のいくつ分 ・商がたたない位に0をかく。 ・わり算でわり切れないときには、商をがい数で表すことがあります。
12月	もとの数はいくつ	・順にもどって考えてとく
1月	14 調べ方と整理のしかた	・2つのことがらを調べる表のかき方
1月	15 分数 ① 1より大きい分数の表し方 ② 分数のたし算とひき算 ③ 等しい分数	・1より小さい分数を真分数1に等しいか,1より大きい分数を仮分数[かぶんすう]といひます。 ・整数と真分数の和になっている分数を帯分数といひます。 ・分母が同じ分数のたし算やひき算では、分母はそのままにして、分子だけを計算します。 ・帯分数を仮分数[かぶんすう]になおして考えましよう。
2月	16 変わり方	『表のかき方』 ①表のわくを2だんに横に長くかく。 ②上のだんと下のだんに調べたものをかく。2つの量の単位を()の中にかく。 ③上のだんを1, 2, 3, ……と1ずつふやしていき、そのときの下のだんをかき入れていく。 ・□や△を使うと、かんたんな式に表すことができる。
3月	17 直方体と立方体 ① 直方体と立方体 ② 面や辺の平行と垂直[すいちょく] ③ 位置の表し方	・長方形や、長方形と正方形で囲まれた形を直方体といひます。 ・正方形だけで囲まれた形を立方体といひます。 ・直方体や立方体などの全体の形がわかるようにかいた図を見取図といひます。 ・辺にそって切り開いた図をてん開図といひます。 ・直方体の面のように平らな面を平面といひます。

算数【小5】 指導カリキュラム（指導語い・表現）一覧表

教科 算数 小5 単元別 指導語い・表現		
月	単元	指導語い・表現 ○S3中級 ○S4上級
4月	1 整数と小数	・27.35は、10, 1, 0.1, 0.01を、それぞれ何個あわせた数ですか。 ・27.35は、0.01を何個集めた数ですか。 ・整数や小数を、10倍、100倍、1000倍すると、小数点は右にそれぞれ1けた、2けた、3けた移ります。
4月	2 体積 ① 直方体・立方体の体積 ② 大きな体積 ③ 体積と比例 ④ 体積の求め方のくふう	・かさのことを体積といいます。体積は、1辺が1cmの立方体がいくつ分あるかで表します。 ・1辺が1cmの立方体の体積=1cm³(1立方センチメートル) ・cm³は体積の単位です。 『直方体や立方体の体積を求める公式』 ・直方体の体積=たて×横×高さ ・立方体の体積=1辺×1辺×1辺 ・1辺が1mの立方体の体積=1m³(1立方メートル) ・プールなどに、どれだけの体積の水がはいるかを考えるとき、その体積を、容積といいます。 ・直方体の高さが2倍、3倍、……になると、体積も2倍、3倍、……になるとき、高さで体積は比例するといいます。
5月	3 小数×小数 ① 小数をかける計算 ② 小数のかけ算を使って	『小数をかける筆算のしかた』 ① 小数点がないものとみて、計算する。 ② 積の小数点から下のけた数は、かけられる数とかける数の小数点から下のけた数の和にする。 ・かけ算では、積とかけられる数との大きさの関係は、次のようになります。 - かける数>1のとき、積>かけられる数 - かける数<1のとき、積<かけられる数
5月	4 小数÷小数	『小数でわる筆算のしかた』 ① わる数とわられる数の小数点を同じけた数だけ右に移し、わる数を整数になおして計算する。 ② 商の小数点は、わられる数の移した小数点にそろえてうつ。 ・わり算でわり切れないときには、商を概数[がいすう]で表すことがあります。 ・余りの小数点の位置は、わられる数のもとの小数点と同じところでは。 ・わり算では、商とわられる数との大きさの関係は、次のようになります。

		わる数>1のとき，積$>$わられる数 わる数<1のとき，積$<$わられる数
6月	5 式と計算	・ 小数のかけ算でも，かけられる数とかける数を入れかえても答えは同じになります。 $\blacksquare \times \bullet = \bullet \times \blacksquare$
6月	同じものに目をつけて	・ かごとりんご5個のねだんをさしひいて考えましょう。
7月	6 合同な図形 ① 合同な図形 ② 合同な図形のかき方 ③ 三角形・四角形の角	・ 2つの図形がぴったり重なるとき，これらの図形は，合同であるといいます。 ・ 2つの合同な図形で，重なり合う頂点[ちょうてん]，辺，角を，それぞれ，対応する頂点[ちょうてん]，対応する辺，対応する角といいます。 頂点[ちょうてん]Aに対応する頂点[ちょうてん]は，頂点[ちょうてん]D 辺ABに対応する辺は，辺DE 角Cに対応する角は，角F ・ 長方形や平行四辺形，台形を，それぞれ1つの対角線で2つの三角形に分けます。 ・ 三角形は3つの頂点[ちょうてん]がきまると，かくことができます。 ・ 三角形の3つの角の大きさの和は180° ・ 四角形の4つの角の大きさの和は360°
9月	7 整数 ① 偶数[ぐうすう]・奇数[きすう] ② 倍数と公倍数 ③ 約数と公約数	・ 2でわり切れる整数を偶数[ぐうすう]，2でわり切れない整数を奇数[きすう]といいます。 ・ 3に整数をかけてできる数を，3の倍数といいます。3の倍数は，3でわり切れます。 ・ 倍数というときには，0の倍数やある整数の0倍は考えないことにします。 ・ 3の倍数にも，4の倍数にもなっている数を3と4の公倍数といいます。3と4の公倍数は，12, 24, 36, ……といくらでもあります。 ・ 公倍数のうち，いちばん小さい数を最小公倍数といいます。3と4の最小公倍数は12です。 ・ 8をわり切ることのできる整数を8の約数といいます。8の約数は，1, 2, 3, 4の4つです。1とどの整数も約数に入れます。 ・ 8の約数にも12の約数にもなっている数を，8と12の公約数といいます。8と12の公約数は，1, 2, 4の3つです。 ・ 公約数のうち，いちばん大きい数を最大公約数といいます。8と12の最大公約数は4です。 ・ 1とその数のほかに約数がない数を素数といいます。1は素数にはふくめません。
10月	8 分数 ① 等しい分数 ② 分数のたし算・ひき算 ③ 分数のかけ算とわり算 ④ 分数と小数の関係	・ 分母と分子に同じ数をかけても，分母と分子を同じ数でわっても，分数の大きさは変わりません。 ・ 分数の分母と分子を同じ数でわって，分母の小さい分数にすることを約分するといいます。 ・ 約分するときは，ふつう，分母をできるだけ小さくします。 ・ 分母のちがう分数を，分母が同じ分数になおすことを通分するといいます。 ・ いくつかの分数を通分するには，分母の公倍数をみつけて，それを分母とする分数になおします。 ・ 通分するときは，ふつう，分母の最小公倍数を分母にします。

		・分母のちがう分数のたし算は，通分してから計算します。 ・分母のちがう分数のひき算は，通分してから計算します。 ・分数に整数をかけるには，分母はそのまま，分子にその整数をかけます。 ・分数を整数でわるには，分子はそのまま，分母にその整数をかけます。 ・わり算の商は，わられる数を分子，わる数を分母とする分数で表せます。 ・分数の中には，わり切れなくて，きちんとした小数で表すことのできないものがあります。 このようなときは，適当な位で四捨五入[ししゃごにゅう]します。 ・小数は，分母が10, 100, 1000などの分数で表すことができます。
11月	9 面積 ① 三角形の面積 ② 平行四辺形の面積 ③ いろいろな三角形・四角形の面積 ④ 面積の問題	・三角形の面積は，長方形の面積の半分になります。 ・三角形ABCで，辺BCを底辺とするととき，頂点[ちょうてん]Aから底辺BCに垂直[すいちよく]にひいた直線の長さを高さといいます。 ・三角形の面積の公式『三角形の面積＝底辺×高さ÷2』 ・四角形の面積は，対角線で2つの三角形に分けて求めることができます。 ・平行四辺形の面積の公式『平行四辺形の面積＝底辺×高さ』 ・台形の面積の面積の公式『台形の面積＝(上底＋下底)×高さ÷2』 台形の平行な2つの辺を上底，下底といい，その間のはばを高さといいます。 ・ひし形の面積の面積の公式『ひし形の面積＝対角線×対角線÷2』
12月	10 平均とその利用 ① 平均 ② 平均を使って	・いくつかの数量を，同じ大きさになるようにならしたものを，それらの数量の平均といいます。平均は，平均するものの数量の合計を，個数でわれば求められます。 『平均＝合計÷個数』
12月	11 単位量あたりの大きさ	・1 km²あたりの人口を人口みつ度といいます。
12月	見積もりを使って	
12月	順々に調べて	
1月	12 割合 ① 割合[わりあい] ② 百分率 ③ 割合[わりあい]のグラフ ④ 割合[わりあい]を使って ⑤ グラフづくり	・ある量をもとにして，くらべる量をもとにする量の何倍にあたるかを表した数を，割合[わりあい]といいます。 『割合[わりあい]＝くらべる量÷もとにする量』 『くらべる量＝もとにする量×割合[わりあい]』 『もとにする量＝くらべる量÷割合[わりあい]』 ・割合[わりあい]を表すのに，百分率を使うことがあります。 百分率では，0.01倍のことを，1%(1パーセント)といいます。 ・割合[わりあい]を表すのに，歩合[ぶあい]を使うことがあります。 歩合[ぶあい]では，0.1倍を1割[わり]，0.01倍を1分，0.001倍を1厘[りん]といいます。 ・長方形を区切って，割合[わりあい]を表したグラフを帯グラフといいます。 ・全体を円で表し，半径で区切って割合[わりあい]を表したグラフを円グラフといいます。

		・帯グラフや円グラフでは，全体と部分の割合[わりあい]，部分と部分の割合[わりあい]がよくわかります。 『グラフのかき方』 ①各部分が全体の何%になるかを求める。 ②合計が100%にならないときは，ふつういちばん大きい部分を変えて100%になるようにする。 ③100等分した目もりのグラフ用紙を使って，各部分をそれぞれの百分率にあわせて区切る。 ④帯グラフではふつう左から，また，円グラフではふつう真上から右まわりに百分率の大きい順に区切り，「その他」はいちばんあとにする。
2月	13 円と正多角形 ① 正多角形 ② 円周と直径	・6つの辺の長さがみんな等しく，大きさもみんな等しい六角形を正六角形といいます。 ・8つの辺の長さがみんな等しく，大きさもみんな等しい八角形を正八角形といいます。 ・直線で囲まれた形を多角形といいます。辺の長さがみんな等しく，角の大きさもみんな等しい多角形を正多角形といいます。 ・正六角形をかくには，円の中心のまわりの角が60°になるように半径を順にかき，そのはしの点を直線で結んでいきます。 ・正六角形の1つの辺の長さは，6つの頂点[ちょうてん]を通る円の半径と等しくなっています。 ・円の周(まわり)のことを円周といいます。 ・円周は直径の約3.14倍です。どんな大きさの円でも，円周÷直径は同じ数になります。この数を円周率といいます。 - 円周率=円周÷直径 ・円周は，次の式で求められます。 - 円周=直径×円周率(円周=直径×3.14) ・円周率は，くわしく求めると，3.14159…となりますが，ふつう3.14を使います。 - 円周÷直径=3.14
2月	14 角柱と円柱 ① 角柱と円柱 ② 見取り図と展開図[てんかいず]	・角柱や円柱の上下の面を底面，横の面を側面といいます。 ・角柱や円柱の底面は平行で，合同な多角形になっています。側面は長方形や正方形で，底面に垂直[すいちょく]になっています。 ・底面が三角形，四角形，五角形の角柱を，それぞれ三角柱，四角柱，五角柱といいます。直方体や立方体も，四角柱です。 ・円柱の底面は平行で，合同な円になっています。円柱の側面のように曲がった面を曲面といいます。 ・角柱は，平面だけで囲まれています。 ・円柱は，平面と曲面で囲まれています。
3月	15 ○や△を使った式	

算数【小6】 指導カリキュラム（指導語い・表現）一覧表

教科 算数 小6 単元別 指導語い・表現		
月	単元	指導語い・表現 ○S3中級 ○S4上級
4月	1 対称な図形 ① 線対称[せんたいしょう] ② 点対称[てんたいしょう] ③ 鏡を使って ④ 正多角形と対称[たいしょう]な図形	・1つの直線を折り目にして折ったとき、折り目の両側がぴったり重なる図形は、線対称[せんたいしょう]または直線について対称[たいしょう]であるといいます。また、その折り目にした直線を対称[たいしょう]の軸[じく]といいます。 ・対称[たいしょう]の軸[じく]で折り重ねたときに重なる点や線を、それぞれ対応する点、対応する線といいます。 『線対称な図形の性質』 ①対応する2つの点を結ぶ直線は、対称[たいしょう]の軸[じく]と垂直に交わります。 ②その交わる点から、対応する2つの点までの長さは等しくなっています。 ・ある点のまわりに180°まわすと、もとの形にぴったり重なる図形は、点対称[てんたいしょう]または点について対称[たいしょう]であるといいます。また、その点を、対称[たいしょう]の中心といいます。 ・対称[たいしょう]の中心のまわりに180°まわして重なる点や線を、それぞれ対応する点、対応する線といいます。 『点対称[てんたいしょう]な図形の性質』 ①対応する2つの点を結ぶ直線は、対称[たいしょう]の中心を通ります。 ②対称[たいしょう]の中心から、対応する2つの点までの長さは等しくなっています。 ・円は線対称[せんたいしょう]な図形で、直径が対称[たいしょう]の軸[じく]になります。円はどこでも直径がとれるので、対称[たいしょう]の軸[じく]はいくらでもあります。また、円は点対称[てんたいしょう]な図形です。
4月	2 分数×分数 ① 分数をかける計算 ② 分数のかけ算を使って	・分数のかけ算では、分母どうし、分子どうしを、それぞれかけます。 ・整数は、分母が1の分数になおして計算しましょう。 ・2つの数の積が1になるとき、一方の数を他方の数の逆数といいます。分数の逆数は、分母と分子を入れかえた分数になります。
5月	3 分数÷分数 ① 分数でわる計算 ② 分数のわり算を使って	・分数のわり算では、わる数の逆数をかけます。 ・帯分数を仮分数になおして計算しましょう。 ・整数や小数のわり算は、分数のかけ算になおすことができます。 ・かけ算とわり算の混じった計算では、わり算をかけ算になおして、1つの分数の形にまとめることができます。

6月	4 文字と式 ① 文字を使った式 ② 式のよみ方	・数量の関係を式に表すとき、○や△のかわりに文字xやyを使うことがあります。 ・xとyの関係を式に表しましょう。 ・xに50をあてはめて、代金を求めましょう。 ・yの値が300, 480となるxの値を求めましょう。
6月	5 比とその利用 ① 比と比の値 ② 等しい比 ③ 比を使った問題	・30:50のように表した割合を比といいます。 ・a:bの比の値は、$a \div b$で求められます。 ・a:bの両方の数に同じ数をかけたり、両方の数を同じ数でわったりしてできる比は、みんなa:bに等しくなります。 ・等しい比で、できるだけ小さな整数の比になおすことを、比を簡単にするとといいます。
7月	6 図形の拡大と縮小 ① 拡大図と縮図 ② 拡大図と縮図のかき方 ③ 縮図の利用	・ある図形を、その形を変えないで、大きくすることを拡大する、また小さくすることを縮小するといいます。 ・形の同じ2つの図形では、次のようになっています。 対応する直線の長さの比はすべて等しい。 対応する角の大きさはすべて等しい。 ・拡大した図形を拡大図、縮小した図形を縮図といいます。
9月	7 速さ	『速さ＝道のり÷時間』 ・単位時間を1時間として表した速さを時速といい、時速75km, 時速80kmのように表します。また、単位時間を1分間としたときの速さを分速、1秒間としたときの速さを秒速といいます。 『道のり＝速さ×時間』 『時間＝道のり÷速さ』 ・時速を秒速になおしてみましょう。
10月	8 比例と反比例 ① 比例 ② 比例を使って ③ 反比例	・比例する2つの量では、(きまった数)×(一方の値)=(他方の値)になっています。 ・対応する値の商がきまった数になります。(他方の値)÷(一方の値)=(きまった数) ・比例する関係を表す式 $y = \text{きまった数} \times x$ ・比例する関係を表すグラフは直線で、横軸[よこじく]と縦軸[たてじく]の交わる点を通ります。 ・ともなって変わる2つの量があって、(一方の値)×(他方の値)=(きまった数) ・反比例する関係を表す式 $y = \text{きまった数} \div x$
10月	9 円の面積	『円の面積＝半径×半径×3.14』
10月	10 小数や分数の計算のまとめ	
11月	11 立体の体積	・1つの底面の面積を底面積といいます。

		『角柱の体積＝底面積×高さ』 『円柱の体積＝底面積×高さ』
11月	12 およその形と大きさ	・ 1L=1000cm ³ , 1mL=1cm ³
11月	13 場合を順序よく整理して ① 場合の数の調べ方 ② いろいろな場合を考えて	・ 試合の組み合わせなど, いろいろな場合を順序よく整理する方法について調べていきましょう。
12月	見積もりを使って	
12月	14 資料の調べ方 ① 資料の整理 ② くふうされたグラフ	・ ちらばりのようすがよくわかる表の表し方を考えましょう。 ・ 柱状グラフ(ヒストグラム)
1月	15 量の単位	・ 量を表すには, いろいろな単位があり, また, 量をはかるには, いろいろな計器があります。 【台ばかり 体重計 リットルます ものさし 巻き尺】 ・ わたしたちが使っている長さや面積, 体積, 重さなどの単位は, メートル法の単位です。 ・ ある単位の前にk(キロ)がつくと1000倍を表し, h(ヘクト)がつくと100倍を表します。 また, ある単位の前にda (デカ)がつくと10倍を表します。 1kmは1mの1000倍, 1haは1aの100倍, 1dagは1gの10倍です。 ・ 重さの単位には, mg(ミリグラム),g(グラム),kg(キログラム),t(トン)があります。 ・ 1 kgは, 水1Lの重さです。
2月	割合を使って	・ 家から駅までの道のりを1として考えましょう。 ・ 砂場の面積は, 公園全体の何分の何にあたるかを考えましょう。